

## 和文著書・原著

水谷 実、野田知宏、海野 啓、谷口正益、玉木茂久、谷川元昭、辻 幸太：  
脾摘及び rituximab 投与を行った autoimmune hemolytic anemia 合併 splenic  
marginal lymphoma  
臨床血液 48(11)：1489-1491、2007.

鈴木圭、伊野和子、水谷実、大石晃嗣、関根隆夫、片山直之；  
脾臓への著明なアミロイド沈着をきたし、致死的肺炎球菌感染症を合併した多  
発性骨髄腫(原著論文)  
臨床血液 48(11)：1503-1507、2007.

鈴木圭、内藤善隆、伊野和子、小林一彦、関根隆夫：  
Rituximab 併用化学療法により完全寛解を得たC型肝硬変合併肺血管内B細胞  
性リンパ腫の1例  
内科 100(5)：992-995、2007.

鈴木圭、岩崎仁史、渡辺文亮、大森教成、石倉健、畑田剛、鈴木秀謙：  
肺炎球菌尿中検査で陽性を呈した劇症型感染症の1例。  
日本救急医学会雑誌、18:763-8、2007.

鈴木恵理、出口晃、浜口均、川村陽一、田中紀行、川村直人、川村憲市、美和千尋、杉  
村公也：  
健常人における温泉浴の唾液分泌と唾液中分泌型 IgA 分泌に及ぼす影響。  
日本温泉気候物理医学会誌 70:127-132, 2007.

美和千尋、杉村公也、白石成明、田中紀行、川村陽一、出口晃、鈴木恵理：  
足浴が高齢者の鼓膜温、発汗量、血圧、心拍数に及ぼす影響。  
日本温泉気候物理医学会誌 70:84-88, 2007.

美和千尋、杉村公也、白石成明、田中紀行、川村陽一、出口晃、鈴木恵理：  
足浴が片麻痺患者に及ぼす影響。

日本温泉気候物理医学会誌 70:209-214, 2007.

田中匡介, 門脇重憲, 濱田康彦, 小坂良, 井坂利史, 直田浩明, 今井奈緒子,  
山中光規朗, 白石泰三, 豊田英樹:  
Endoscopic Submucosal Dissection における酢酸併用拡大内視鏡の有用性  
Gastroenterological Endoscopy 49:12-20, 2007.

竹田 寛、永澤直樹、小林茂樹、伊佐地秀司、小川朋子、白石泰三、西村廣一、  
多田豊治、田中公、吉田美昌、平野忠則、石原明德:  
NPO法人三重乳がん検診ネットワークの活動状況—マンモグラフィ検診ファイ  
ル共有のためのネットワークシステムの開発—。  
日本乳癌検診学会誌 16:4-10, 2007.

向 克巳  
内視鏡的粘膜切開・剥離法による治療  
鈴鹿中央総合病院雑誌 12:44-46, 2007

田丸智巳、西川政勝:  
本態性血小板血症に対する治療法は?  
EBM 血液疾患の治療 2008-2009、押見和夫、別所正美、岡本真一郎、加藤淳編。  
中外医学社、東京、pp539-544, 2007.

田丸智巳、西川政勝:  
血管の異常による出血性疾患。  
わかりやすい内科学第3版、井村裕夫編。  
文光堂、東京、pp344-346, 2007.

西川政勝、田丸智巳:  
血小板の異常による出血性疾患. I. 特発性血小板減少性紫斑病  
わかりやすい内科学第3版、井村裕夫編。  
文光堂、東京、pp346-349, 2007.

西川政勝、田丸智巳：

アスピリンにおいて”pleiotropic effect”などによく耳にします。これらの意味を教えてください。

血栓と循環 15(1):99-101, 2007

西川政勝、田丸智巳：

各種抗血小板薬の特徴と使い分けについて教えてください。アスピリン、チクロピジン、シロスタゾール、サルポグレラート、ベラプロスト等。

血栓と循環 15(1):109-113, 2007

田丸智巳、西川政勝：

血小板膜糖タンパク欠損マウス。

血栓症・動脈硬化モデル動物作製法、鈴木宏治編。

金芳堂、東京、pp263-269, 2007.

西川政勝、田丸智巳：

血小板機能検査法。

血栓症・動脈硬化モデル動物作製法、鈴木宏治編。

金芳堂、東京、pp227-238, 2007.

田丸智巳、西川政勝：

血小板系分子マーカー（ $\beta$ -トロンボグロブリン、血小板第4因子、トロンボキサン、P-セレクチン、フローサイトメトリーによる活性化血小板の検出）。

臨床検査ガイド 2007-2008、Medical Practice 編集委員会編。

文光堂、東京、pp599-603, 2007.

田丸智巳、西川政勝：

出血傾向（血小板および凝固因子異常に関連したもの）。

成人病と生活習慣病 36(10):1143-1148, 2007.

松本剛史、西川政勝：

特集・専門医が実地医家に答える Q&A Q42：抗血小板療法、抗凝固療法の新し

い展開について教えてください。

血栓と循環 15 : 118 - 9, 2007

松本剛史、兼児敏浩、和田英夫 :

DIC・病態解明とEBMの確立をめざして DICの臨床検査.

治療学 41 : 241 - 4, 2007

小林 透、西井一浩 :

造血器腫瘍—急性骨髄性白血病治療の新展開—

日本臨床 65 : 607-610, 2007.

山口素子:

悪性リンパ腫.

Year Note Selected Article 2008 伊藤和香子、青木裕美編.

メディックメディア 東京、pp1181-1191, 2007.

山口素子:

鼻NK細胞リンパ腫の治療法は？

EBM 血液疾患の治療 2008-2009 押味和夫、別所正美、岡本真一郎、加藤 淳編、

中外医学社、東京、pp398-403, 2007.

山口素子:

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫.

専門医のための薬物療法 Q&A 血液 押味和夫、長澤俊郎、小松則夫編、

中外医学社、東京、pp229-241, 2007.

山口素子:

悪性リンパ腫の病型別治療—治癒を目指した最適治療の選択—.

Medical Practice 24:1993-1997, 2007.

山口素子、北 堅吉:

リンパ節腫脹.

井村裕夫編、わかりやすい内科学 第3版  
文光堂、東京、pp1162-1169、2007.

山口素子、堀口美穂、武藤昭江：  
悪性リンパ腫におけるがん化学療法の基礎知識～最新情報。  
外来看護最前線 13：別冊、2007.

西川博嘉、佐藤永一、珠玖 洋：  
Treg と癌免疫応答  
Annual Review 免疫 2007、pp266-276.

西川博嘉、珠玖 洋：  
制御性 T 細胞による免疫抑制とその克服  
医学のあゆみ 221:631-636、2007.

西川博嘉、加藤琢磨、平山倫子、珠玖 洋：  
腫瘍由来自己抗原を用いたがんワクチン療法  
血液・腫瘍科 54:460-466、2007.

水野 聡朗：  
乳癌の薬物療法：転移・再発後乳癌のホルモン療法  
医薬ジャーナル 43:107-110、2007.

渡辺 亨、向井博文、伊藤良則、水野聡朗 他：  
科学的根拠の基づく乳癌診療ガイドライン  
①薬物療法 2007 年版：日本乳癌学会編  
金原出版、2007 年 6 月.

兼児敏浩：  
医療材料を巡る諸問題について ～安全管理者の立場から～  
イザイ 第3号：58-64、2007.

兼兒敏浩：

患者安全学入門 第2章、第10章 池田俊也監訳  
エルゼビア・ジャパン、2007.

出口晃、田中紀行：

脳血管障害、老年期認知症.

高齢者のための温泉療法(白倉卓夫編)、

ライフ・サイエンス、東京、pp74-82、2007.

出口晃：

脳血管障害、神経疾患.

新入浴・温泉療法マニュアル(日本温泉気候物理医学会編)、

JTB印刷(株)、東京、pp81-86、2007.

田中匡介，豊田英樹，濱田康彦，葛原正樹，青木雅俊，中村美咲，小坂良，野  
田知宏，二宮克仁，井上宏之，井本一郎，竹井謙之：

消化管の拡大内視鏡観察 2007 酢酸法(解説/特集)

胃と腸 42:891-897、2007.